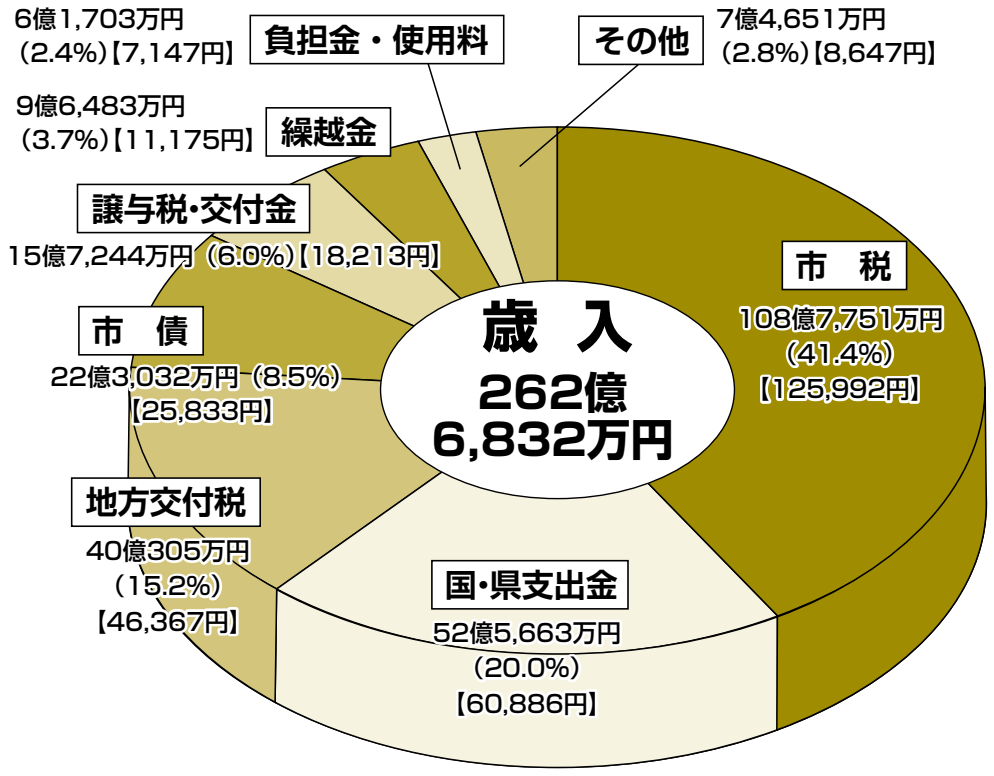


概要 ~行田市の家計簿をお知らせします~



市民1人当たり
歳入計
【304,260円】

平成21年度の決算がまとまりました。決算は、自治体の予算執行や財政運営を明らかにするもので、自治体の家計簿といえるものです。市民の皆さんからいただいた大切な税金などがどのくらい入り、どのように使われたのかを見てみましょう。

歳入の特徴	
市税	<ul style="list-style-type: none"> ○景気低迷に伴う企業収益の悪化により、法人市民税については、対前年度比で2億9,358万円(△37.8%)の大幅な減収となり、個人市民税については、1億5,972万円(△3.4%)の減収となりました。 ○評価替えにより、固定資産税が1億4,756万円(△3.1%)、都市計画税も2,452万円(△3.4%)の減収となりました。
国・県支出金	<ul style="list-style-type: none"> ○定額給付金事業の実施や国の経済対策に基づく地域活性化・経済危機対策臨時交付金などにより、国庫支出金が対前年度比で17億4,510万円(79.2%)の増収となりました。
地方交付税	<ul style="list-style-type: none"> ○景気低迷に伴う税収の減少や、地域の実情に応じた雇用対策の財源措置として地域雇用創出推進費が創設されたことなどにより、普通交付税が、対前年度比6億5,775万円(23.0%)の増収となりました。
市債	<ul style="list-style-type: none"> ○地方交付税の財源不足を補てんするための臨時財政対策債が4億1,634万円(55.2%)の大幅増となりましたが、借換債2億8,850万円(皆減)や減収補てん債1億円(△33.3%)の減などにより、総額ではほぼ同様の規模となりました。
譲与税・交付金	<ul style="list-style-type: none"> ○自動車販売台数の減少のほか、エコカー減税の実施による影響などにより、多くの譲与税・交付金において、対前年度比で減収となりました。
歳入総額	262億6,832万円 (前年度比5.1%増)